

“至 誠”（新たなる歴史に向けて）

校長便り 2019 第6号

1. たくさんの勝利！たくさんのイベント！そして同窓会

夏休みの部活動等の大活躍は第4号で書きましたが、2学期もそれにもましてたくさんの活躍を見ることができました。すでに表彰も済んで披露は終わっているのですが、この「校長便り」はHPを通じて校外にも発信していますので再度掲載しておきます。

12月に行われる全国大会に11月中の予選を突破して3つのクラブが出場します。バスケットが3年連続のウインターカップへ、2年連続ベスト16の壁を破って昨年のインターハイに続いてベスト8以上を達成してください。バトンも4年連続の全国大会。幕張メッセも全国大会の会場として定着してきました。少ない人数ながら地域や県の行事に貢献してくれたバトン部、今度は自分たちのために昨年以上の結果を残してください。そして、5年ぶり7回目の全国高校駅伝への出場を決めた陸上部、長らく2位に甘んじてきた悔しさをバネに津商への雪辱を果たしました。東海駅伝でも入賞して上り調子。京都ではチャレンジャー精神で思い切ったレースをしてください。また、2年連続東海を制したテニス部は3月の選抜大会へのシード校としての出場をほぼ手中に収め（正式な出場は1月に決定されます）、空手部も個人に加えて今回は団体でも東海を勝ち抜き、選抜へコマを進めました。11月に県大会を制したハンドとギタマンも2月の東海大会を勝ち上がってきっと全国大会出場を果たしてくれると信じています。強化指定のクラブ以外も頑張ってくれました。11月までの県大会で、バレー、剣道、卓球、ソフトがベスト8入り。本校はスゲ〜部活が多すぎるので目立ちませんが、県でベスト8に入ると私の常識では大したもの。特に、剣道は私が本校へ来てからは初のベスト8ですから本当に頑張ってくれたと思います（敢闘賞もいただきました）。

商業系のクラブも健闘してくれました。11月2日の東海実務総合競技大会においてITCが団体で3位、個人でも2位に入りました。「全国で入賞するよりも東海で入賞の方が難しい」といわれるほどレベルの高い東海地区にあって立派な成績。夏休みの全国大会入賞が実力だということを証明しました。

授業における表彰もありました。「税の作文」は毎年1年生全員が応募していますが、他校の上級生相手に例年は2、3人の入選者だったのがなんと今年は7人の入選者を輩出。中でもF組の山口さんは「名古屋国税局長賞」という最優秀作に選ばれる大健闘。税務署の方の話では「1年生がこの賞を取ったのは少なくとも私の記憶にない」とのこと。1月に伊勢で開かれる表彰式には知事や税務署長などお歴々の前で作品のプレゼンを行います。

これ以外にも個人として県大会、東海大会での入賞もたくさんあるのですが、とても書ききれません。ごめんなさい。ただ、現在校長室には各クラブの持ってきてくれた優勝旗がなんと7本も並んでおいてあることだけ付け加えておきます（こんな学校あるの？）

11月23日の「四日市まちなか文化祭」は本校の課題研究の授業「シティマネジメント」に所属する3年生が四日市市や商店街の方々とコラボして企画したイベント。今年は出演者も多彩になり、司会も3年生のS君が落語家の林家菊丸師匠（川越高校出身）と掛け合いで行うなど企画性も上がりました。それに伴い、観衆の人数も増え四日市の街中も大いににぎわいました。課題研究の3年生たちも自分たちの企画や研究をアピールするなどプレゼン力も向上していることを感じました。ただ、皆さんの持っているポテンシャルを考えたら、もう一つ残念なのは、菊丸さんの突っ込みに即応できる生徒が少なかったこと。もちろん、高校生には難しいことではありますがこうした対応力が主体性、気づきの力であり今後の社会で求められるものである以上、ぜひとも様々な経験を積んで今後さらに成長して欲しいと思います。また、翌日は四日市市役所において「プロボノワンデイセッション」に「ビジネスマネジメント」の授業で県の「商業生徒発表会」に出場したメンバーが参加してくれました。12分間のプレ

ゼンはリハーサル以上に淀みなく簡潔に進み、ほぼ完ぺきな出来ばえ。社会貢献などその道のプロの企業人、行政マンも「すげ〜」と感心するほどで、何人かの専門家の人たちから「ぜひ来年は四日市商業とコラボしたい」と申し出を受けるほどでした。さすがに、このあとの課題解決の議論に加わるのはハードルが高いかもしれませんが、約8時間の専門家の中に入った濃厚な時間はきっと5人の生徒たちにとっても大きな財産になったと思います。

そして11月17日の同窓会。総会ではこれらの現役生徒の活躍を私の方から報告させていただきました。みなさん、若い後輩たちの活躍に自分たちの時代を重ね合わせて本当に楽しんでくれました。懇親会においてはギターマンドリン部の演奏を皮切りに思い出に花を咲かせていらっしゃいましたが、演奏後、全国大会入賞の報告をすると万雷の拍手。また、私は昨年に続いて2回目の同窓会出席だったのですが、今年は昨年に比べて大幅に出席者が増えて四日市シティホテルの部屋にあふれんばかりのOBの方々が。特に、今年は女性の姿、若いOBの参加が多く、活気にあふれた時間になりました。皆さんも近い将来同窓生の側になるはず。ぜひともこのような地元の同窓会に参加して四日市商業や四日市の街を活気づけてほしいと思います。

加えて、その若い同窓生たちの活躍と四日市市からのイベントのPRを掲載しておきましょう（私の聞いた範囲しか書けません、もし他にもあればぜひ教えてください）。テニス部のOBで昨年卒業の吉岡さんがプロも出場する全日本選手権で3位に、同じく2年前の卒業生吉田さんはインカレ3位、ユニバシアード（大学生のオリンピック）代表候補に選ばれています。企業情報では四日市の伊藤製作所にお勤めの江藤さんと加藤さんが活躍を認められてこの度、中部経済新聞、日刊工業新聞全国版に特集記事で取り上げられたそうです。

また、「シティマネジメント」がお世話になっている四日市商店連合会の森さんから、8月の大四日市祭りや10月の四日市祭りに参加する「甕破り（かめわり）山車保存会」のメンバー募集の案内が来ています。お試しでの参加や一回ごとの参加も歓迎だそうなので、気楽に参加してみてください。来年の5月16日、17日の土曜・日曜は四日市でB1グランプリが開かれます。ボランティアの募集も年が明けたら教頭先生から紹介してもらおうので振って参加してください。地域に密着し、地域を盛り上げ活性化する。とてもいい経験になりますし、あなたの将来にもためになると思います。

2. 保護者と生徒の皆さんへ（個人情報等についてのお知らせ）

この便りと一緒に「教職員と生徒・保護者とのSNS等の使用に係る適切な取り扱いについて」というプリントを配布しました。先生方は県教育委員会からの指示に従ってすでに適切な対応を実施していますが、年度途中から連絡方法等の変更で混乱を招くことを避けるため、保護者・生徒への連絡を見合わせていました。しかし、先生方の様子や機械警備に伴う初期の混乱もそれほどなく実施されていますので、別紙のようにSNSを使用した連絡の取り扱いについて配布させていただきます。今後はこの取扱要領に従って連絡を取り合っていただくようお願いいたします。ただし、部活動・クラスでの連絡を年度途中で変更して混乱するのを避けるため完全実施は来年度4月からにしたいと思います。

いよいよ年末を迎え、慌ただしい日々が続きます。特に3年生は就職・進学も決まって、自動車学校へも通うようになるなど卒業、社会に向けての日々になります。しかし、3月1日の卒業式まではあくまで高校生、四日市商業の生徒であるという自覚をもって生活するとともに、社会人としての資質・能力を身につけられるように残り3か月を勉強と成長の日々にしてほしいと思います。それでは来年1月8日の始業式にみんなが元気に顔を合わせる事ができるように。よいお年をお迎えください。

(12月24日)